

地域情報化推進の拠点施設

ハートステーション開設

市では、当市出資の第三セクター組織である㈱ハートネットワークと連携して、ケーブルテレビ・ブロードバンドの整備を主とする地域情報化の推進に継続して取り組んでいます。

これら施策推進をより強化するため、㈱ハートネットワークではこのたび、市内新田（西条警察署

横）の複合商業施設に、同社の西条局となるハートステーションを開設しました。

このハートステーションでは、市内のさまざまな情報に出会ったり、最新の情報機器を体験したりすることができ、西条市の情報交流・発信の拠点としての利用が期待されています。



▲9月4日のオープニングセレモニーで行われた、開設を記念してのテープカット

野菜ソムリエが西条産品の魅力をPR

『絹かわなす』東京・お台場出展



▲来場者に絹かわなすをPRする野菜ソムリエ

8月28日、全国に野菜を紹介するイベント「2010『野菜の日』WE EK!日本全国野菜の“わ”が、東京・お台場で開催され、西条市から地元伝統野菜「絹かわなす」を出展しました。

このイベントは8月31日の「野菜の日」にちなみ、日本野菜ソムリエ協会が開催したもので、同協会のパートナー制度に登録している西条市を含む5県3市の自治体と協賛企業が自慢の野菜や果物を

出展し、首都圏の消費者にアピールしました。

西条市のブースでは、野菜ソムリエの資格を有する市やJA西条の職員等が、絹かわなすのおいしい食べ方やレシピを紹介するとともに、絹かわなすが食べられる関東の飲食店を紹介したチラシや、市の観光パンフレットを配布し、会場を訪れた約2500人の来場者に西条市をPRしました。

出展した野菜や果物がプレゼントされるクイズコーナーでは、絹かわなすを求めて多くの来場者が並び、用意した絹かわなすは瞬間になくなり、非常に注目を浴びていました。

「健康」と「家族の支え」の賜物 ゴルフのエージシユート 100回達成

明屋敷在住 小田正一さん (79)

エージシユートは、ゴルフで18ホールを自分の年齢以下の打数で終えることで、ゴルフファアの憧れともいわれています。

今年で80歳を迎える小田さんは、6月にエージシユート100回を達成しました。

56歳からゴルフを始めた小田さん。そのきっかけは、定年退職の際に友人から贈られたゴルフシューズだとか。小田さんにとつてのゴルフの魅力は、「努力すればするほど結果が出ることです。毎日、日誌を付けて反省点を確認し、反復練習を欠かしていません」と語ります。

「体調・精神力・体力が整わないとゴルフは絶対スコアが伸びません。100回の記録が達成できたのも、健康維持と家族の支えがあったからです」と語る小田さんは、毎朝1時間ほどのウォーキングにも励まれています。

自身の健康と家族・友人に支えられ、小田さんの記録更新はまだまだ続きます。



平成17年、74歳の時に初めてエージシユートを達成した小田さん。このほかにも、県内外のシニア選手権などで、輝かしい成績を挙げられています。